

Published by the Gifu City International Exchange Association, May 2014

発行／(公財)岐阜市国際交流協会 〒500-8701 岐阜市今沢町18(岐阜市役所国際課内) Tel&Fax058-263-1741

Grassroots (草の根レベルの)
International (国際的な)
Friendly (友情と)
Understanding (理解を求めて)

日米を結ぶ絆 友好の木 ハナミズキ植樹

日米友好の証として、アメリカから岐阜市へハナミズキ20本が寄贈され、これを記念した植樹式が4月21日(月)に、岐阜市中央青少年会館芝生広場(明徳町)において開催されました。

植樹式には、在名古屋米国領事館のハリー・サリバン首席領事をお迎えし、細江茂光岐阜市長、國井忠男岐阜市議会議長、早川三根夫岐阜市教育長ほか、地元から明徳自治会連合会会長、市立明郷小学校の児童ら約90名が参加しました。

明郷小学校の児童による合唱にはじまり、サリバン首席領事と細江岐阜市長による記念碑の除幕、参加者代表によるハナミズキの植樹が行われました。

ハナミズキの成長とともに、参加した子どもたちが成長し、未来に向けて日米友好の輪が広がることを期待されます。



▲ハナミズキを植樹する参加者の皆さん
(右端から細江市長、國井市議会議長、サリバン首席領事、赤塚明徳自治会連合会会長、ほか明郷小児童の皆さん)

Contents

- **特集** 友好姉妹都市との青少年交流 2
- 国際交流のあゆみ 6
- 事業のご報告 4
- インフォメーション 8

友好姉妹都市との青少年交流

岐阜市の友好姉妹都市との間で青少年による交流が活発に行われています！

次世代の担い手である青少年が、異なる文化等に直接触れることにより、国際理解・国際感覚を備え、今後の青少年活動及び友好姉妹都市交流の一翼を担う存在となることが期待されています！

今号では、その様子を特集いたします！！

アメリカ・シンシナティ市との学校交流

岐阜聖徳学園大学附属中学校によるセント・イグネイシャス・ロヨラ校受入

姉妹都市のアメリカ・シンシナティ市からセント・イグネイシャス・ロヨラ校の生徒11名、引率教員3名(代表:ローラ・シーブ副校長)が、昨年の12月4日(水)から10日(火)まで、岐阜市で学校交流を行いました。

岐阜市滞在中は、岐阜聖徳学園大学附属中学校(三島秀滋校長)が受入を行い、英語や国語(書道)などの授業参加や茶華道など日本文化の体験のほか、中学校生徒宅でのホームステイを通じて交流を深めました。



▲岐阜聖徳学園大学附属中の皆さんがロヨラ校の皆さんを盛大に歓迎しました。



▲岐阜聖徳学園大学附属中でのクラブ活動体験で、茶華道部の生徒がレクチャーを行い、日本の伝統的文化である華道を体験しました。

9日(月)には岐阜市長に表敬訪問を行ったほか、市立鶉小学校と市立境川中学校を訪問しました。

鶉小学校では、体育館で、コマ遊びや、曲に合わせて歌を歌うなど児童と一緒に体を動かし、境川中学校では書道を行い生徒と交流しました。

言葉の壁を越えて児童生徒たちは心を通わせ、受入を行った岐阜聖徳学園附属中学校では「今度はシンシナティを訪問したい。」という思いを強くした生徒もあり、このような交流が、今後も活発に続いていくことが期待されます。



▲市立鶉小学校での児童との交流
「セブンスター」の曲に合わせて、輪になって歌を歌い踊るなどして楽しみました。



▲市立境川中学校での書道体験
境川中の生徒らの指導の下、一生懸命に取り組み、書を通しての交流が行われました。

岐阜・シンシナティ市姉妹都市締結25周年記念青少年訪問団

岐阜シンシナティ交流協会青少年訪問団(神谷勇毅団長)19名が3月27日(木)から4月4日(金)まで、姉妹都市のアメリカ・シンシナティ市を訪問しました。岐阜シンシナティ交流協会は、平成20年と平成22年にも青少年訪問団をシンシナティ市へ派遣しており、今回が3回目の訪問となります。

訪問団は、市内の小学生から大学生までの青少年で構成されており、訪問にあたっては、事前に6回の研修会を行い海外渡航やシンシナティ市について学習したほか、2月27日(木)には在名古屋米国領事館を訪問し、ハリー・サリバン首席領事から激励を受けました。

現地では学校訪問及びホームステイを体験したほか、4月1日(火)にシンシナティ市長を表敬訪問し、岐阜市長からの親書を手渡しました。

参加した皆さんは、研修会の成果を発揮し現地での交流を楽しみ、今後も交流を続けていきたいと気持ちを新たにしました。



▲岐阜大学と学術提携を結んでいるノーザンケンタッキー大学(NKU)を見学しました。



▲ジョン・クランリー シンシナティ市長(左から3人目)を表敬訪問しました。

第19次岐阜市少年友好訪中団 杭州市派遣

市内の小学生から高校生までの12名と引率3名で組織する第19次岐阜市少年友好訪中団(団長 早川三根夫岐阜市教育長)が、昨年の12月14日(土)から19日(木)までの日程で、友好都市である中国・杭州市を訪問しました。

岐阜市と杭州市の青少年交流については、毎年相互に訪問し交流を重ね、友好の絆を深めています。

今回は、友好学校での授業体験や、現地青少年との交流が行われました。

参加した児童生徒は「熱烈な歓迎を受け友好的に温かく受け入れてもらえ、とても嬉しかった。」「人と人との交流を大切にしていけば、国と国の関係も改善できる。」と交流の意義を強く感じていました。



▲市立本荘中学校の友好校である学軍中学校にて、校長先生との記念写真



▲市立岐阜商業高校の友好校である旅游職業学校で、カフェラテ作りの実習授業に参加しました。

外国人のための日本語講座後期



開催期間 初級Ⅰ：10月2日～2月12日(月、水)
初級Ⅱ：10月17日～1月30日(火、木)
場 所 岐阜市文化センター
参加者 初級Ⅰ：13名 初級Ⅱ：14名

日常生活に必要な基本的な日本語を学ぶ「外国人のための日本語講座」の後期を開講しました。今期も、中国、フィリピン、アメリカ、ベトナム、韓国、マレーシアと、様々な国出身の受講生たちが、一緒に勉強しました。

日本語がほとんど分からないところから始めた初級Ⅰクラスでは、通常の講義形式の授業の他、ボランティアとの日本語での会話練習も行いました。

初級Ⅱクラスでは、修了式で日本語のスピーチに挑戦。まずは敬語で自己紹介をしてから、先生への感謝の気持ちや自分の好きなこと、これから頑張りたいこと、母国のことなど、それぞれ考えてきた内容を日本語で発表しました。それぞれの学習の成果がよくわかる、とてもよいスピーチでした。修了式の最後には、「スピーチをする」という緊張から解放され、みんな笑顔で、修了証書を持って記念撮影しました。

「やさしい日本語」講座

開催日 12月3日、17日(火)の全2回
場 所 ハートフルスクエア-G

参加者 22名

「やさしい日本語」という言葉をご存知でしょうか?普段何気なく使っている日本語ですが、難しい言葉を使わないようにしたり、言葉にふりがなを付けたりするなど、ちょっとした工夫をすることで、外国人にも、子どもにも、お年寄りにもわかりやすい言葉になります。そんな「やさしい日本語」について学ぶ講座を、岐阜大学教育学部シニア教授の山田敏弘さんを講師にお迎えし、開催しました。

日本語はどんなところが難しいのか、どうすればやさしくなるのかなど、山田先生に教えていただいた後、グループごとに「やさしい日本語」への翻訳に挑戦。日本語を日本語で言い換えることの難しさを実感しながら、少しでもわかりやすく、やさしい表現になるように、グループごと、アイデアを出し合いました。



岐阜市の姉妹都市交流 カンピーナス市・フィレンツェ市パネル展



開催期間 12月16日(月)～20日(金)
場 所 岐阜市役所市民ホール

岐阜市は、2012年にブラジル・カンピーナス市と姉妹都市提携30周年、2013年にはイタリア・フィレンツェ市と提携35周年を迎えました。これを記念して、それぞれの市との交流のあゆみを紹介するパネル展を開催しました。

高層ビルと自然が共存するカンピーナス市、歴史ある建物が美しいフィレンツェ市の紹介をはじめ、2013年に岐阜市の代表団がそれぞれの市を訪問した際の交流の様子などを、写真約30枚とともに展示しました。両市に岐阜市内の学校の姉妹校・友好校があることや、フィ

レンツェ市で市民団体が創作オペラを上演したことなど、活発な交流について展示を見て初めて知ったという方も多くいらっしゃいました。

姉妹都市提携以来、長い間岐阜市と交流を続けている両市について、なぜ姉妹都市になったのか、どんな交流をしてきたのかを知っていただき、姉妹都市を身近に感じていただく機会となりました。

英語を話したい人、集まれ!

開催日 2月2日(日) **場 所** ハートフルスクエア-G
参加者 48名

英語圏出身のボランティア等を講師に迎えて、英語を使ったゲームや会話などを楽しむ、当協会の大人気イベント。今回は、親子クラス、ゲームクラス、会話クラスの3つのクラスで開催しました。

小学1～3年生のお子さんとその保護者を対象とした親子クラスでは、英語を使った歌やゲームで楽しみました。親子でチームとなって、別のチームと対戦する「動物カルタ」ゲームでは、動物の絵の描かれたカードをたくさん獲得できるよう、次に先生が何の動物を英語で言うか、みんな集中して聞いていました。

小学4年生以上を対象としたゲームクラスでは、2チームに分かれて対抗戦で行うゲームなどを実施。自分の背中に貼られたカードに書かれた動物を当てる「Who am I?」ゲームでは、なかなか何の動物かを当てるのが難しく、他の参加者に何度も英語で質問をして、自分は何の動物なのかを真剣に考えていました。

会話クラスでは、5名程度の少人数のグループで、それぞれ持ち寄った写真などを見せ合いながら、英語で楽しく交流しました。



和紙で雛人形を作ろう!

開催日 2月22日(土)
場所 ハートフルスクエアG
参加者 18名



岐阜市国際交流ボランティアの企画・運営により、外国人市民の皆さんに日本文化を体験してもらいイベントを開催しました。「もうすぐ雛祭り」ということで、雛祭りを紹介するイベントを企画。和紙人形作家の東谷千佐子さんに和紙を使った雛人形作りを教えてくださいました。

まずは、ボランティアの皆さんに、雛祭りについて説明してもらい、日本の行事についての理解を深めました。続いて、雛人形作り挑戦。綺麗な和紙を重ねて、お内裏様とお雛様の着物にしたり、袴を付けたり、雛人形を載せる台を作ったり。とても細やかな作業に、参加者は苦労しながら、それぞれ可愛い雛人形を完成させました。

参加者の声

- 雛人形に関する歴史や背景などを知ることができ、とても面白かったです。自分で雛人形を作ることができて、達成感がありました。
- とても楽しく良い思い出になりました。色々な人に会えて、良かったです。

岐阜県民ブラジル移民100年

「生まれはブラジル、地元は岐阜。」～多様なルーツを持つ若者が輝ける社会～



開催日 2月27日(木)
場所 ハートフルスクエアG
参加者 41名

1913年に岐阜県人のブラジルへの移住が始まり、現在ブラジルには1万人を超える岐阜にルーツを持つ人がいます。また、岐阜県内にも約1万人のブラジル人が生活しています。岐阜県民のブラジル移住が100年を迎えたことから、日系ブラジル移民の歴史や現在外国にルーツを持つなど、様々な若者が日本に多くいる中で、そういった若者が輝ける社会とはどんな社会なのかを考える講座を岐阜市生涯学習センターさんとの共催で開催しました。

講師は、NPO法人Mixed Roots×ユース×ネット★こんぺいとうの代表理事、渡辺マルセロさん。渡辺さんは、ブラジルで生まれ、13歳の時に来日した、日系ブラジル人です。ブラジルに移住した人々の現地での生活についてや、日本語が全くわからない状態で来日し、先生や友人に支えられて、成長したご自身の学生時代、そして、現在の多様な背景を持つ子どもたちが活躍できる社会づくりを目的としたNPO法人の活動などをお話しいただきました。

ご自身の経験をふまえたお話により、地理上は遠く離れたブラジルを身近に感じられ、また、国籍など様々なルーツを持つ人々が、一緒に暮らす多文化共生社会について考える機会となる講座となりました。

参加者の声

- 改めて、人との出会いやつながり、支えの大切さを痛感しました。ブラジルと日本との関係や移民の歴史がよくわかりました。
- ブラジル移民の努力や苦労を知ることができました。今後も外国人との交流を持っていきたいです。

外国人市民のための防災体験学習

開催日 3月16日(日)
場所 北部コミュニティセンター
参加者 22名



外国人市民の皆さんに、災害等が発生した際の対応について理解を深めていただく、防災体験学習を開催しました。まずは、東日本大震災の経験をふまえ、(公財)仙台国際交流協会が制作した多言語の地震防災ビデオを視聴。緊急地震速報の意味や「警報」、「避難指示」等、非常時に使われる用語について学んだり、災害時、何が必要かを考えるワークショップも行い、非常用持出袋の必要性についても学びました。また、岐阜北消防署にご協力をいただき、心肺蘇生法やAEDの使い方も体験しました。参加者は、119番通報してから、救急車が到着するまでの約6分間、交代しながら胸骨圧迫をし続ける体験をし、その大変さを実感。「AEDはどんなところに設置されているのか」、「患者を動かしても大丈夫か」など、熱心に質問も出されました。

今年度も昨年度に引き続き、日本語ボランティア「虹の輪」にご協力をいただき、開催することができました。ありがとうございました!

参加者の声

- 災害が起きた際に、どうすればよいか学ぶことができて、大変勉強になりました。
- 日本語の勉強をしているけれど、防災用語は難しい。今日は、色々な用語について学べて、勉強になりました。

国際交流のあゆみ

(2013年12月～2014年3月)

●国際交流の輪∞黒野 「もちつき大会と日本の正月」 (12/8)

岐阜大学の留学生らに日本のお正月文化を体験してもらうイベントが、国際交流の輪∞黒野(工藤治示代表)により、同大学の構内にある国際交流会館で開催されました。

19回目となる今年も、多くの参加者で賑わい、慣れない手つきでついた、出来立てのお餅を、きなこ餅や雑煮にして、味わいました。また、花餅づくりなども行い、日本のお正月を楽しみました。

●アフガニスタンの教育に関する講演会 (12/14)

アフガニスタンの子どもたちの教育支援を目的としている、特定非営利活動法人飛鳥(柳原靖子理事長)が岐阜グランドホテル月の間において「アフガニスタンバークマンにおける文化遺産の保護とその教育」「アフガニスタンの教育事情と公衆衛生対策について」をテーマに講演会を開催しました。

講演会にはセイエド・ムハンマド・アミン・ファティミ駐日アフガニスタン大使や岐阜市長も出席。約150名が熱心に講演を聞いていました。



●外国人市民生活実態調査ヒアリング(12/15他)

岐阜市が、次期多文化共生推進基本計画の策定に資することを目的として実施した外国人生活実態調査(外国人市民1,500名に対してアンケートを送付)の一環として、岐阜日中交流促進会や日本語ボランティア団体等の日本語教室、岐阜モスク、黒野コーポなどで外国人市民の生活状況等のヒアリング調査を行いました。

●韓国大邱広域市寿城区 泛魚幼稚園一行来岐 (1/8～11)

韓国の大邱(テグ)広域市寿城(スソソ)区にある泛魚(ポモ)幼稚園(権亨民 コン・ヒョンミン理事長)一行6名が、岐阜市鷺山の学校法人城北学園かぐや第二幼稚園と姉妹幼稚園提携を結ぶため岐阜市を訪問しました。

両幼稚園は昨年3月に韓日親善交流協会会長の徐彰教(ソ・チャンギョウ)氏の紹介を機に交流が始まりました。

1月10日(金)には岐阜市長を表敬訪問し、姉妹幼稚園提携の報告を行いました。

●ベベの会「日本の着物に親しんでみませんか!」 (1/11)

外国人市民も多く住む黒野コーポで、ベベの会(松井本恵代表)による、地域の皆さんに着物の着付けや茶道などを体験してもらうイベントが開催されました(協力:ぎふまちづくりセンター)。

この地域に住む留学生やその家族など、外国人市民も参加し、着付けをしてもらって、記念撮影をしたり、お抹茶を飲んだりして、日本の文化を楽しみました。



●岐阜県日本中国友好協会 日中友好新春の集い (1/19)

岐阜県日本中国友好協会(杉山幹夫会長)の「日中友好新春の集い」がホテルグランヴェール岐山で開催され、関係者や会員など約80名が参加しました。集いでは同協会理事でフリーランス・ライターの土屋康夫さんが、同協会から発行し

た岐阜市と、友好都市である杭州市との交流の歴史を記した書籍「ナツメの木は生きている」への思いや取材でのエピソードなどを語りました。

講演後の賀詞交歓会では二胡の演奏などが行われ参加者は楽しく交流を深めました。

●ベトナム・ダナン市都市交通改善プロジェクト訪問団来岐(1/20)

ベトナム国ダナン市都市交通改善プロジェクト訪問団(ディン・ヴァン・ティン団長)8名がJICA技術協力プロジェクトの都市交通改善プロジェクト調査の一環としてBRT(Bus Rapid Transit:バス高速輸送システム)を視察するため岐阜市を訪問しました。また、視察に際し岐阜市長への表敬訪問も行いました。

今回の訪問は、今後ダナン市において人口の急増が想定されることから、岐阜市のほか、東京、横浜、名古屋の大量輸送システムや交通管理施策を視察し、ダナン市行政職員の能力向上を図ることを目的としています。

●日本語ボランティア「虹の輪」ニューイヤーパーティー(1/25)

外国人を対象に、日本語を教えている日本語ボランティア「虹の輪」(武藤みさき会長)が、ニューイヤーパーティーを長良川スポーツプラザで開催し、日本語を学ぶ学習者や日本語を教えるボランティアら113名が参加しました。

参加者がそれぞれ持ち寄った各国の料理などで、楽しく食事をした後、岐阜大学の学生による、よさこい踊りなどが披露され、楽しい時を過ごしました。



●岐阜市立三里小学校 国際フェスタ(1/28)

言語、文化、習慣等の違いを超え、それぞれの多様性を認め合い、尊敬し合える心情を培うことを目的に、岐阜市内や近郊地域に住む外国人に母国の文化、習慣等を子どもたちに紹介してもらう「国際フェスタ」と題した行事が、岐阜市立三里小学校で開催されました。

子どもたちは、オーストラリア、ブラジル、フランス、中国、ミャンマー、ネパールなど、様々な国の教室を、1~6年生で構成されたグループごと、選んで回り、文化の違い等を学びました。



●きぼう教室開講(2/3)

学校に通っていない、外国にルーツのある子どもたちへの就学支援の教室が、日本聖公会中部教区可児ミッション(野村潔代表)により、岐阜聖パウロ教会で開講しました。子どもたちは、教室での授業や課外活動などを通して、就学に際して必要となる日本語や、日本の学校における習慣等を学んでいます。

●岐阜県多文化共生推進 功労者表彰(2/6)

教育、労働、生活等様々な分野において、岐阜県の多文化共生の推進に貢献し、顕著な功績のあった個人や団体を表彰する岐阜県多文化共生推進功労者表彰の表彰式が、ふれあい福寿会館で行われました。9団体、2個人の表彰者のうち、岐阜市からは、外国人を対象に日本語の学習支援等を行っている、日本語ボランティア「鮎の会」(藤田いづみ代表)と「虹の輪」(武藤みさき会長)の2団体が表彰されました。

●日本語ボランティア 「鮎の会」書道クラス (2/14、20)

日本語ボランティア「鮎の会」(藤田いづみ代表)が、日本語を学ぶ学習者を対象に、日本の文化も学んでもらうことを目的として、書道クラスを開催しました。2日間開催されたクラスに合計26名が参加し、ボランティアに教えてもらいながら、書道を体験しました。



●岐阜朝鮮初中級学校 歌と踊りの発表会 (2/23)

岐阜市にある岐阜朝鮮初中級学校の児童、生徒らによる歌と踊りの発表会が、羽島市文化センターで開催されました。幼稚班による演劇や初級部による合唱、中級部による打楽器演奏などが発表され、練習した成果を保護者や学校関係者等に披露しました。

●中国在名古屋総領事来岐 (2/27)

今年1月に着任した葛廣彪(かつこうひょう)中華人民共和国駐名古屋総領事館総領事が岐阜市長へ新任の挨拶を行うため来岐しました。

表敬訪問の前には御手洗にある日中友好庭園を訪れ、日中不再戦の碑や中国人殉難者の碑を視察しました。



●ドキュメンタリー映画 「ブラジル ノ ニッポン」 上映会(3/2)

美濃加茂市の日系ブラジル人一家を追ったドキュメンタリー映

画の上映会が、NPO法人Mixed Roots×ユース×ネット★こんぺいとう(渡辺マルセロ代表理事)により、ハートフルスクエアGで開催されました。

勤めていた工場の閉鎖、病気、言葉の壁など様々な課題に直面しながら、家族の絆を深めていく家族の物語に、約90名の参加者が見入っていました。また、岐阜県人のブラジル移住が100年を迎えたことを記念した特集連載を担当した岐阜新聞記者による講演や、日系ブラジル人の若者たちによる座談会も行われました。

●岐阜市外国人市民会議 (3/23)

岐阜市が外国人市民の視点から、多文化共生施策などについて意見交換を行う「岐阜市外国人市民会議」を岐阜市役所にて開催しました。平成25年度第3回目となる今回の会議では、外国語で相談できる窓口などを掲載した「外国人生活ガイドブック携帯版」の発行や、岐阜市が実施した「外国人市民生活実態調査」の調査結果などを議題に、話し合いました。

●韓国生活健康実践研究会 訪日団来岐(3/25~28)

韓国の京畿道(キョンギド・韓国北西部)の広州市にある生活健康実践研究会の訪日団(張 龍和 チャン・ヨンハ団長)24名が、岐阜市八代にある薬膳料理店「よこひら亭」で薬膳料理の研修を受けるため来岐しました。

張龍和団長は地元特産品の開発を行う傍ら、薬草・発酵食品の研究を行っており、「よこひら亭」の薬膳料理に感銘を受け研修を申し込みました。今回で2回目の研修となります。

3月26日(水)には岐阜市長を表敬訪問しました。



INFORMATION

イベント開催！お気軽にご参加ください。

■ 英語を話したい人、集まれ！～Let's Speak English!～

- 日 時** 6月29日(日)
①小学生向け ゲームクラス 10:00～11:30(9:45受付開始)
②中学生～大人向け 会話クラス 14:00～16:00(13:45受付開始)
- 場 所** 岐阜市文化センター(岐阜市金町5-7-2) 3階 展示室
- 定 員** ①20名 ②30名(応募者多数の場合抽選となります)
- 内 容** ①英語を使ったゲームなどで楽しめます。※保護者もご参加いただけます。(保護者の参加費は無料です。)
②少人数のグループに分かれて、英会話を楽しめます。※「やさしい英語グループ」と「通常グループ」があります。
- 参加費** お一人様500円(当日お支払ください)※賛助会員は無料です。
- 募集期間** 6月2日(月)～20日(金)

イベント申込方法

イベント名、希望クラス(②会話クラスは「やさしい英語グループ」か「通常グループ」を選択)、氏名(①ゲームクラスで保護者が参加する場合は保護者も)、住所、年齢(小学生～高校生は学年も)、電話番号を明記の上、E-mailもしくは往復はがきにて下記まで。電話でのお申し込みは受け付けておりませんのでご注意ください。皆さまのお申し込みをお待ちしております！

お問い合わせ・お申し込み／(公財)岐阜市国際交流協会
〒500-8701 岐阜市今沢町18(岐阜市役所国際課内) Tel&Fax:058-263-1741 E-mail:gifucity-iea@nifty.com

その他の情報

■ 賛助会員加入のお願い

現在岐阜市には、約8,400人の外国人市民が生活しています。外国人市民との関わりは日常的なものとなってきており、より円滑で円満な共存・交流が図られている反面、相互理解、コミュニケーションの難しさなどの課題にも直面しております。

当協会は、産業、経済、教育、文化等幅広い分野での国際交流活動の促進を図り、国際化に対応したまちづくりと国際親善に寄与することを目的に活動しています。これらの目的を皆様と共に達成するための賛助会員制度を設け、会員の皆様の参加による事業の運営を目指しています。

是非とも賛助会員にご入会いただき、岐阜市の国際交流、多文化共生活動の推進にご協力いただきますようお願い申し上げます。

- 会 員** 当協会の目的に賛同していただける個人又は団体 **会 費** 個人会員：一口3,000円 法人会員：一口10,000円
期 間 毎年4月1日～翌年3月31日までの1年更新 ※年度途中でのご加入は加入日から翌年3月31日まで
特 典 協会主催事業への招待・優遇、国際交流ニュースの送付など

上記賛助会員に併せまして、当協会では皆様からの寄付をお願いいたしております。

皆様の「草の根交流」への協力・支援、並びに様々な事業を通じた岐阜市の国際交流、多文化共生推進に役立てて参ります。何卒ご賛同賜りますようお願い申し上げます。

お問い合わせ／(公財)岐阜市国際交流協会 Tel&Fax:058-263-1741 E-mail:gifucity-iea@nifty.com

岐阜市からのお知らせ

■ 岐阜市国際交流ボランティア募集中！

岐阜市国際課では、下記の活動にご協力いただける国際交流ボランティアを常時募集しています。ボランティア活動は初めて、という方も大歓迎！ご興味をお持ちの方は是非一度お問い合わせください。

ボランティア活動項目

- ①ホームステイ・ホームビジット ②語学(翻訳/通訳) ③文化紹介 ④企画・運営 ⑤在住外国人支援

お問い合わせ／岐阜市役所 国際課 Tel:058-214-6125 E-mail:world@city.gifu.gifu.jp